

第3回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録

日 時	平成27年10月6日(火) 午後3時から午後4時30分
場 所	柏原市民文化会館リビエールホール1階会議室
出席者	○松井委員長 ○奥田副委員長 ○巳波委員 ○大村委員 ○岡村委員 ○山田委員 ○谷委員 ○重森委員 ○大堀委員 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツ
欠席者	○石村委員
事務局	○瀬田企画調整課参事 ○山本企画調整課長補佐 ○石橋企画調整課長 ○柏原市商工会
会議次第	1 柏原市人口ビジョン(素案)について 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について 3 その他
会議資料	○第3回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 次第 ○資料1:まち・ひと・しごと創生 柏原市人口ビジョン(素案) ○資料2:柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(素案) ○新規事業の内容

議 事

【開会】

(事務局)

開会挨拶

- ・委員の交代: JA 中河内の宮崎委員から山田委員へ変更
- ・石村委員欠席

1. 柏原市人口ビジョン(素案)について

(事務局)

まち・ひと・しごと創生 柏原市人口ビジョン(素案)(資料1)についての説明

(委員長)

素案を作成しているが、パブリックコメントを実施するのか。スケジュールはどうか。

- (事務局) 審議結果を受け、本市の各課、WG 会議の調整を経て、素案として確定したものをパブリックコメントにかける。11月頃に予定。その後、再度、委員会を開き、案について、審議する。
- (委員長) 市民の意見を踏まえて、再度、審議する予定となっている。

2. 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

- (事務局) 柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（素案）（資料2）についての説明
- (委員長) 総合戦略の素案について、第1章は変更なし。第2章の基本方針について確認したい。ご意見はあるか。
- (A委員) 基本方針で三世代がよりそうこととすると、Uターンに関する施策は考えていないのか。
- (事務局) 考えていない。
- (委員長) P11からの施策について、ご意見はあるか。
- (A委員) 基本目標①で雇用者数と女性就業者数を目標値にしている。女性をターゲットにしていると思うが、女性に対する施策が少ない感じがする。
- (事務局) 女性をターゲットにした施策が少ない。転出する女性が多いので1割の転出を減らすことを考えている。施策については、再度、精査して女性に対する施策を検討したい。また、若手のプロジェクトチームで女性に対する施策を検討している。
- (B委員) 若者の市内雇用者数の割合の目標値が15%となっており、高い感じがする。施策をすべて実施しても高いのではないか。柏原市内で工場を拡大して雇用を創出する企業がない。また、スペースも少なく、郊外に出ていく企業もある。予算の問題もあるが、立地拠点の施策が必要ではないか。
- (事務局) 目標値については、各施策を精査して、再度、見直しを行う予定である。企業誘致もあるが、難しいこともあり、戦略からはずしている。
- (委員長) 企業誘致も5年間で実施するのは難しい。長期的に市としては考える必要がある。
- (C委員) 施策を実施しても目標値を達成できるかどうかわからない。KPI値が低いものもあり、バランスが悪い感じがする。
- (事務局) 事業課で実施している数値をあげている。バランスが悪いことは理解している。目標値については再検討する。
- (委員長) 予算の問題もあり、施策の実施が難しい面もあるが、施策に対する意見はあるか。
- (D委員) p.13の「④創業支援の強化」は「市の特色を活かした事業」よりも「今まで柏原市になかった」というものをアピールし

- た方が良いのではないかと。
- (事務局) 既存事業をベースにしているが、ご意見を踏まえて、検討する。
- (A委員) 大学との考えと異なるが、大学生が市に出て行ってボランティアやまちづくりにかかわってもらいたいと考えている。町屋や商店街の再生など学生のボランティアを加えれば、学生が柏原を好きになって残ってもらえるのではないかと。
- (委員長) 学生に残ってもらうことも重要である。
- (E委員) 一貫校に入学しているが、いい環境だと感じている。ただし、スクールバスや保育所の預かり時間など変更してもらえると良いのではないかと。
- (F委員) まちの創生の基本方針に対応する事業があつていないように思う。「多世代混在による大学生と高齢者との交流」とあるが、対応している事業はどれにあたるのか。また、スマートフォンの取組はどのようなものか。
- (事務局) 基本方針と整合するよう、施策の見直しを行う。スマートフォンの取組は買い物難民の方にスマートフォンを活用してもらって宅配することを考えている。
- (F委員) 既に、イトーヨーカドーで利用できる。高齢者の方にスマートフォンが利用できるかどうか疑問である。
- (G委員) 買い物弱者の件については、電話、FAX などの手法もある。マーケティングなど地域の人が何を求めているのか確認する必要がある。また、どこが実施するのかも考える必要がある。
- (C委員) 農業振興が少ない感じがする。もう少し必要なのではないかと。「道の駅を実施する」などは明確であるが、この施策だけで農業振興になるのか。空き家の活用なども考えてはどうか。葡萄のアピールなど農業の振興が必要ではないかと。全体的にアピールポイントが見えない。
- (事務局) 農業振興については、P12 の観光振興で葡萄をアピールしている。田舎暮らしの応援、お試し移住など農園とセットでの空き家の活用もある。事業化ができる、できないの判断もあり、入っていないものもある。再度見直して、農業振興の充実を図りたい。ポイントについては、総花的に施策を入れているためぼやけている感じがする。メリハリをつけたい。
- (A委員) ふるさと納税は対象ではないのか。
- (事務局) 特産品を売り出すことになるので、ふるさと納税も考えられるが、戦略には盛り込むことは考えていない。
- (B委員) 「もし、大和川が氾濫したら」を心配し、大和川から離れた位置に土地を求める企業もある。不安に感じている企業や人がいるので安心であることを PR する必要があるのではないかと。

- か。
- (事務局) ご指摘のとおりであるが、国の事業なので手を出しにくい。防災マップを作成し、全戸配布しており、浸水区域は確認できる。弱い所はスーパー堤防で強化されている。治水事業で柏原地域はがんばってもらっている。
- (B委員) 転入する人には分からない。
- (事務局) HPの改善などを考える。
- (G委員) 知らない住民が多いので周知の必要がある。P16の二世帯と三世帯があっていない。
- (事務局) 修正する。
- (委員長) 再度、市の内部で精査してパブリックコメントする流れであるが、委員には連絡するのか。
- (事務局) 最終公表前に連絡する。
- (G委員) 柏原検定を実施して、働きやすいまちになるのかどうか疑問である。
- (事務局) 精査しきれていないところもある。施策の記載順番も含めて、見直す。柏原検定も入れ替えする予定である。
- (委員長) 基本目標も含めて精査して貰いたい。
- (C委員) P20の結婚支援にもリノベーションが含まれている。
- (事務局) リノベーションは別の施策となるので、家賃補助となる。リノベーションで三世帯と二世帯が間違いと説明したが、三世帯だと条件が厳しくなるので、二世帯の方を対象として統一する。

3. その他

- (事務局) 施策等意見があればお願いしたい。意見を踏まえて修正し、10月中に事業課、WGで調整する予定である。11月にパブリックコメントを実施する予定である。最終公表前に委員の方々にメールする。パブリックコメントを踏まえ、最終の委員会を実施する予定である。
- (委員長) 委員の意見を参考に、素案のとりまとめをする。この間、意見があれば事務局にお願いする。

以上



委員会の様子